芽室町地域公共交通活性化協議会における地域公共交通確保維持改善事業の概要

事業実施の目的・必要性

芽室町は市街地に住宅が集中しており、高齢者など交通弱者をはじめとする町民の日常生活を支える足として、公共交通の確保が必要になる。
市街地に存在する交通空白地帯の解消と高齢者の外出機会の創出を目的に、民間が実施していない市街地循環型の定期路線バスの運行を実施している。
また、隣の帯広市に連絡している地域間幹線系統と接続し、乗継を考慮した時刻表や割引制度を設けることで、利用者の移動可能範囲を広げている。

地域公共交通の現況

- JR根室本線（芽室駅、大成駅）
- 十勝バス(株)(町内1路線)
- スクールバス（13路線）

生活交通ネットワーク計画の目標

1便当たりの乗車人数目標を10.0人とする。

協議会開催状況

平成26年11月20日　協議会を開催
・地域公共交通確保維持改善事業に関する事業評価について
・コミュニティバス運行路線の変更について
・平成27年度収支予算について
平成27年6月10日　協議会を開催
・平成27年度事業計画について
・地域内フィーダー系統確保維持計画の提出について
平成27年9月10日　協議会(書面)を開催
・消費税増税に伴うコミュニティバスの運賃改定について
平成27年11月30日　協議会を開催
・コミュニティバス運行3年間の利用実績について
・地域公共交通確保維持改善事業に関する事業評価について
・コミュニティバス停留所の新規設置について
・平成28年度収支予算(案)について

平成27年度事業概要

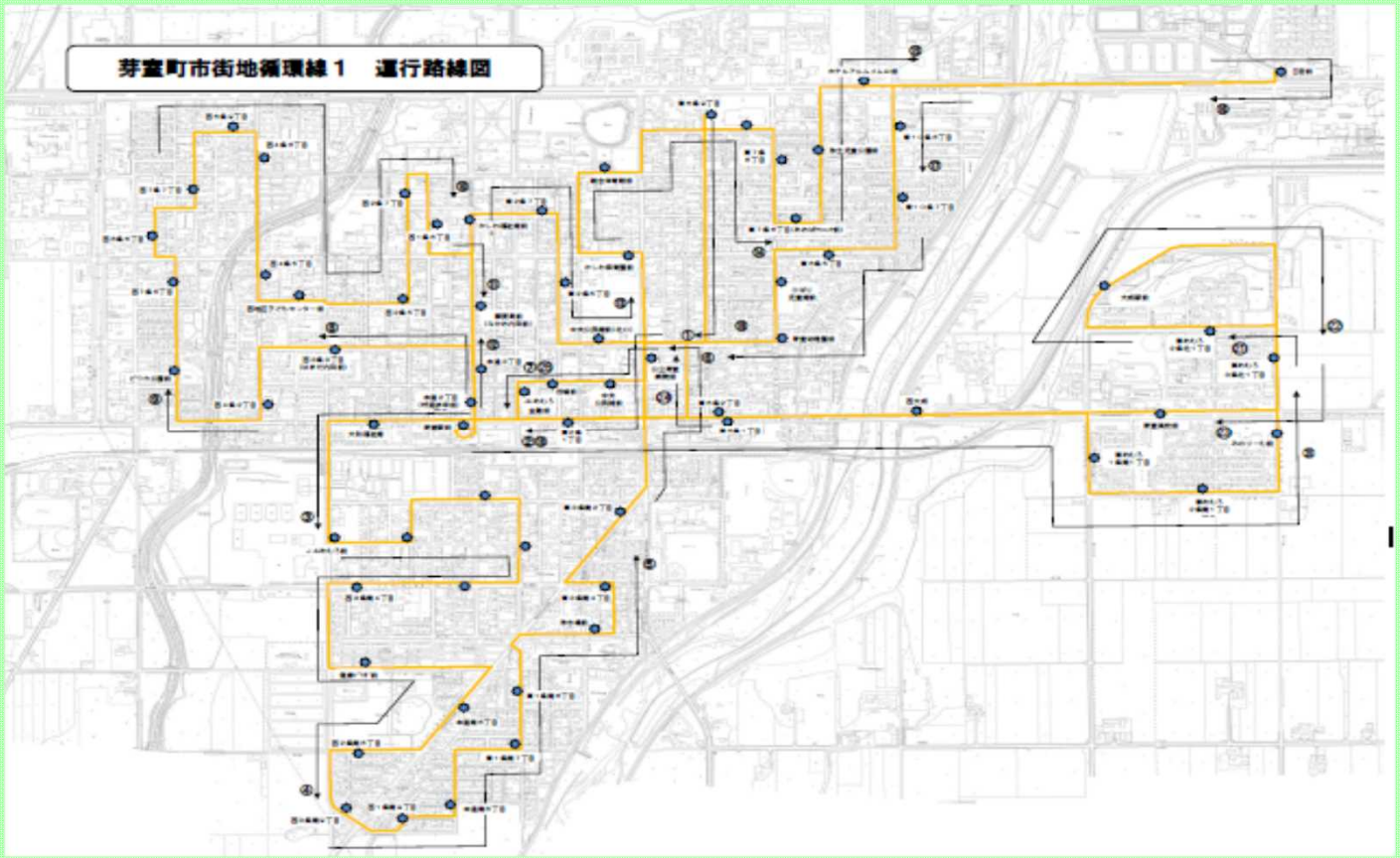
芽室町内に事業所をもつ(有)こばとハイヤーが芽室町市街地循環線を運行。起点(東6条9丁目)から終点(芽室駅前)まで市街地を1日5回循環する。

平成27年度事業の実施状況

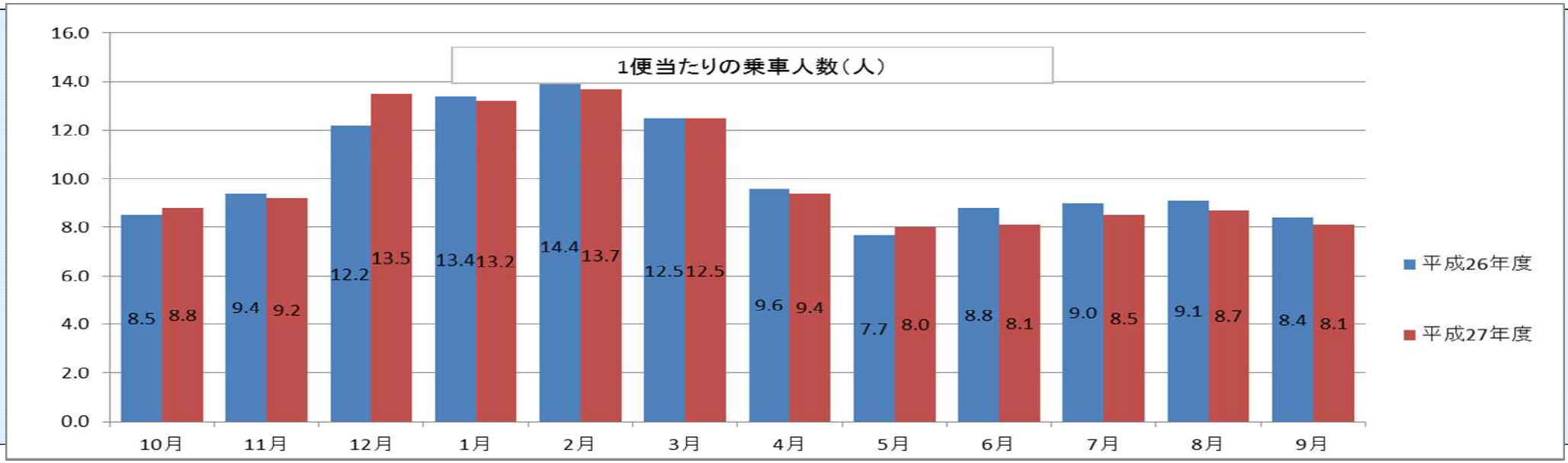
１）プロセス、創意工夫

・町広報誌、マスコミ等を活用し、PRを実施。
・バス停の除雪は各町内会において実施。
・住民の要望等によるバス停の新設について検討。

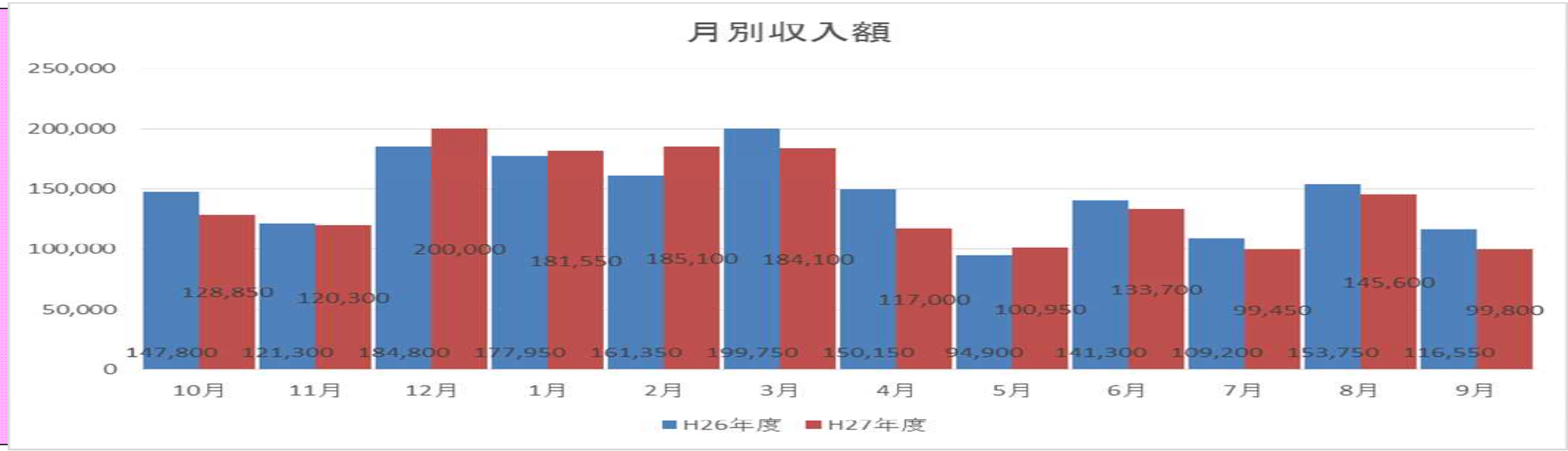
２）運行系統



３）利用実績


1便当たりの乗車人数（人）
16.0
14.0
12.0
10.0
8.0
6.0
4.0
2.0
0.0
8.5 8.8
9.4 9.2
12.2 13.5
13.4 13.2
14.4 13.7
12.5 12.5
9.6 9.4
7.7 8.0
8.8 8.1
9.0 8.5
9.1 8.7
8.4 8.1
10月 11月 12月 1月 2月 3月 4月 5月 6月 7月 8月 9月
平成26年度
平成27年度

４）収入実績


月別収入額
250,000
200,000
150,000
100,000
50,000
0
147,800 128,850
121,300 120,300
184,800 200,000
177,950 181,550
161,350 185,100
199,750 184,100
150,150 117,000
94,900 100,950
141,300 133,700
109,200 99,450
153,750 145,600
116,550 99,800
10月 11月 12月 1月 2月 3月 4月 5月 6月 7月 8月 9月
H26年度
H27年度

5）事業実施の適切性

計画どおり事業は適切に実施された。

6）目標・効果達成状況

目標乗車人数10.0人/便に対し、10.1人/便であった。

7）事業の今後の改善点

回数券や運転免許返納者の優遇措置等のほか、町民の意見を反映した新たなバス停を設置するなど利用者の利便性の向上を目指し、乗車人数10.0人/便の目標を維持したい。

8）地方運輸局における二次評価結果

（平成28年度分と併せて評価）